

役に立つ葬儀の話 Vol.80

【樹木葬】

樹木葬は「葬」としてはありますが、葬儀のことではなくお墓のことを指しています。平成12年に岩手県にある知勝院というお寺様が「自然を守る新しいお墓」が出来ないか？という思いがきっかけで、お墓でありながら「美しい里山を後世に残す」をテーマとして掲げ始められました。その中でも従来と違うお墓のシステムが大きな反響を呼びました。

ひとことで樹木葬といっても種類がいくつかあります。シンボルツリーの周りに遺骨を麻布などで包み地中に埋葬する形が一般的ですが、骨壺のまま納骨出来る所もあり霊園によって違いがあります。種類は大きく分けて以下の3つに分類されます。

【植樹型】

区画上に墓石は置かず、目印の為に好きな草花や樹木を植えます。何を植えるか個々の希望に沿って墓地の特色に違いが出やすい形といえるでしょう。

【プレート型】

区画上にお骨を納め土に還しますが、プレート型の石を置き目印として手を合やす対象を残しておきます。ドリーマー愛媛地区の提携先霊園で特にご希望が多い形がこのタイプです。プレートが砥部焼や菊間瓦など地元名産の物を使用した形ということも人気の要因かもしれません。

【墓石型】

従来の墓石を使った小さい箱型タイプで、骨壺のまま納骨する形が一般的です。

お墓に抱える悩みとして「子供に迷惑をかけたくない」「お墓の世話をしてくれる人がいない」「遠方の為、頻繁に墓参りが出来ない」などが多くみられるようです。樹木葬は「継承者不要」「管理費不要」「一人一人墓」「宗旨宗派を問わない」「安価である」「いつでもお墓参り可能」という点が特徴として挙げられます。また、生前契約をする方が70%以上と事前に準備をしておきたいと考える方が多いようです。樹木葬の特徴を踏まえてどのような方が樹木葬を検討されると良いかをもう少し詳しくご紹介させていただきます。

1つ目はお悩みの中でもあった様に少子高齢化社会にあって先々の事を考えた時にお墓を管理してくれる、継いでくれる人が居ない、等の後継ぎ問題に不安をお持ちの方。

2つ目はお墓の草引きや落ち葉の掃き掃除、墓石の磨き掃除など綺麗に保つ事の問題と、年間管理料を含めた管理をしていく事に対して子供に迷惑をかけたくないとお考えの方。

3つ目は宗旨や宗派に捉われたくない、代々墓の様に決まった人達だけではなく姓が違う家族であっても同じ場所に埋葬してあげたい、というお考えの方。大まかな点ではこのようなところでしょうか。1つでも当てはまる方は一度ご検討されてみると良いでしょう。

葬儀事情が時代と共に変わってきた背景には、家族形態の変化や生活環境の変化が一因として挙げられると思いますが、それに伴いお墓の在り方やお墓に対する考え方というも変化を遂げ、その1つとして「樹木葬」は今注目をされています。興味がある、一度場所を見てみたい、相談をしたいという方は**フリーコール：0120-44-5880**までお気軽にお問合せ下さい。



戸田直記

あしがき

今年のお盆は、久しぶりに家族親族が集まって、会えなかった期間のことや昔話を花を咲かせた方も多かったのではないのでしょうか。お盆前にお墓掃除に行ったのですが、ひと月前に抜いた雑草が玉砂利の間から早くも生えており、夏の日差しに厳しさにも玉砂利にも負けずに伸びやかに生える姿と、その逞しさにびっくりさせられました。まだまだ残暑が厳しく熱中症に注意が必要な季節です。皆様も体調管理には充分に気を付けてお過ごし下さい。



出口秀美

お問い合わせ
資料請求

フリーダイヤル
0120-44-5880
365日24時間対応しております。
【通話無料】携帯電話でもつながります。

**ドリーマーご自宅出張
無料事前相談実施中 !!**

スタッフコラム

葬儀社の仕事は迎えからご安置、通夜・葬儀・年忌法要のお手伝いと多岐にわたります。今回はその中で夜間の業務についてお話したいと思います。

夜間はスタッフが毎日交代で宿直体制をとって会館に待機しています。過ごし方は様々で、夜間の業務に備えてすぐに仮眠をとる人もいれば、DVD鑑賞や読書など、それぞれの時間を過ごしているようです。電話があれば就寝時でも、すぐ起きて対応できる様に電話の着信音にはかなり敏感になります。電話対応時は寝起きの声にならないよう気を付けてはいるのですが、思いのほか声でなくて言葉がつかまってしまうことも。お客様にご迷惑をお掛けしないよう、宿直前日から体調を万全にして、枕もとに水やのど飴をおき声を整え、寝起きでもすぐにいつもの対応ができるよう心掛けています。

夜間ご依頼があった際には、1時間程お時間をいただき、病院または施設などにお迎えに伺います。会館またはご自宅に故人様をご安置し、死亡診断書と弊社の書類をご記入いただき、葬儀日程の仮決めをおこないます。この段階で本決まりにならないのは、火葬場・宗教者様に連絡できるのが朝になるためです。葬儀の細かな内容を定める打合せの日程を決め、準備物について説明します。枕元のお飾りについての注意事項、遺影写真、親族人数、合葬礼状、お料理についてなど翌日の打ち合わせに必要なことがすぐに手元で確認できるように用紙としてお渡ししております。

夜間や早朝、ご遺族様も大切な人を亡くされ、肉体的にも精神的にも大変な状況で、葬儀に関する様々なことをすぐにお話することは難しいと思います。故人様をご安置したのちは、ご遺族様の負担にならないように必要最小限の説明にとどめ、翌日に細かな内容についての打ち合わせをおこなうように徹底しております。

混乱の中で葬儀社に連絡することは勇気のいることかもしれませんが、365日24時間体制で常にお客様のお力になれるようスタッフが待機しておりますのでご安心ください。



岡田直也

ちょっとひといき

今回は気になっていた2液性レジンで作ろうと思い購入したのですが、初めて使うこともあり色々試しているうちに使いきってしまいました…。

2液性レジンに主剤と硬化剤の二種類を特定の比率で混ぜると化学反応で固まります。いつも使っているUVレジンに紫外線にあたることで固まります。厚みがあり大きな物や沢山パーツをいれた物は全体に紫外線が届かず固まりにくいのですが、2液性レジンに液の化学反応で固まる性質の為、おまなく綺麗に固まります。ゆっくりと時間をかけて固まるので、作業に時間のかかる物や厚みがあり大きな物、沢山素材をいれて固める物には最適ですので使ってみて下さいね。

ということで予定変更！今回は家にある素材を使って何かを作ろうとYouTubeショートを見ていると、中のパーツが動くハートシェイカーの動画が沢山あがっていました。ハートの型はありませんが、ちょうど花の形のシリコンモールドを100均で購入したばかりだったので、こちらのモールドを使ってシェイカーを作成することにしました。

まず花形のモールドにレジン液を流し込みます。気泡が入らないようにゆっくりと少しずつ流し込んで下さい。真ん中の丸の部分にかからないようギリギリまで液をいれたら硬化させます。硬化したら透明なレジンに縁までゆっくりと流し込んで再度硬化させます。これで枠は完成です。出来上がった枠にシャカシャカと動くよう素材を入れていきます。中に入れる物は小さいほうが見栄えや動きが良いので、以前作成した小さな素材を探したのですが見当たらず。小さなモールドで新たに作成した素材と、ガラスで作られたガラスカラーサンドやフェイクパールやカラーストーンなどをバランスよく入れて蓋をしていきます。蓋はOPPフィルムをカットして貼り付けるのですが在庫がなく、クリアファイルの間にレジンを入れて固めてフィルムを作成しました。フィルムを丸型に切り取り蓋を閉じるようにレジンで硬化させ、全体を薄くレジンでコーティングをしたら完成です！ふるとシャカシャカと中が動いて写真の通り可愛く出来上がりました。

3回にわたってお届けした『何かを作ってみた』のコーナーも今回で終了です。お付き合いいただきありがとうございました。



真好由佳